

「杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に対する 区民等の意見提出手続の実施結果について

1 区民意見の提出期間

平成27年10月1日～平成27年10月30日

2 公表方法

- ・広報すぎなみ12月11日号
- ・区ホームページ
- ・冊子の閲覧（企画課（区役所東棟4階）、区政資料室（西棟2階）、
区民事務所、図書館）

3 意見提出実績

計12件（個人12件）《延42項目》
（郵送1件、持参4件、電子掲示板4件、メール3件）

4 お寄せいただいたご意見と区の考え方

- （1）ご意見の概要と区の考え方
別紙1参照
- （2）総合戦略（案）の修正について
別紙2参照

5 問い合わせ先

杉並区政策経営部企画課企画調整担当
電話 03-3312-2111（代表）
内線：1416～1418

区民等の意見の概要と区の考え方

項目	意見の概要	区の考え方
第2章 基本目標と基本的方向		
2 基本的方向		
基本目標2 地方との連携により、豊かな暮らしをつくる		
	基本目標2の取組が地方自治体の豊かな自然環境を保全するためのサポートであれば前向きに行うべきだ。	基本目標2では、取組の基本的方向として、地方の自然環境を保全する視点も含め、地域資源を活用した豊かな暮らしづくりを支援していきます。
基本目標3 来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する		
	区外の人間を呼び込んで落ち着きのない街にしてほしくない。	住宅都市杉並の観光事業は、住んでよし訪れて良しのまちづくりが基本となります。事業実施にあたっては、区民が住み続けたい魅力あるまちにしていくことが、区への旅行者の増加にもつながるとする視点で、取り組んでいきます。
	杉並区として、「まちのにぎわい」の対応に画一的な方策を作るべきではない。 区にまたがる基本策は、策定してもなかなか効果が上がらないのではないかと。 街の特性にあわせて各街のそれぞれの具体策を策定する必要がある。	基本目標3には地域ごとの取組や手法として、12の事業を掲載しましたが、まちのにぎわいを創出するためには、この事業以外にも様々な方法で取り組んでいきます。区としても画一的な取組ではまちのにぎわいは創出されるものではないと考えており、実施にあたっては、各地域の特性を活かしながら事業を推進していきます。
第3章 基本目標達成に向けた具体的取組		
基本目標1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
1 結婚の希望をかなえるための支援		
	そもそも結婚の前提となるのはまず収入である。未婚者が多いのは貧困層を拡大する国の政策自体に瑕疵があり、地方自治体の問題ではないのではないかと。	区においても若者の就労と雇用安定を支援していくと同時に、就労の問題に留まらず、出会いの創出、安心して妊娠・出産・子育てができる支援を行う等、少子化問題に取り組んでいくことが必要と考えています。

項目	意見の概要	区の考え方
	<p>若者が結婚・出産をためらう背景には非正規雇用や経済的な不安もあるのではないかと。特に非正規雇用の男性は結婚が難しい。結婚に向けた出会いの場創出事業の参加者にはワークインフォメーションにのっているような区内の事業者を紹介し、区内で働き、家庭をもつことを進めるなどの支援をするのはどうか。</p>	<p>区が行ったアンケートでは、若者が結婚するには、経済的に余裕ができることが一番に挙げられています。出会いの場の創出事業に限らず、所得が向上し、経済的に自立できるように、就職面接会の実施や就労支援センターでの安定就労の定着支援等、若者の就労と雇用安定を支援していきます。</p>
(1)① 就職面接会の実施	<p>「就職面接会の実施」について、32年度の成果指標の「100人」という数字の根拠は何か。</p>	<p>雇用情勢の回復等により、就職面接会への参加者数が減少傾向にあることや、就労経験が乏しく、未就労期間が長期化している等の要因を抱える若者の利用数が増加していること等、実績と傾向を踏まえて設定したものです。</p>
(1)① 就職面接会の実施	<p>「就職面接会の実施」について、職種を「福祉職」に絞った理由は何か。</p>	<p>区では、保育施設や介護施設の整備に重点的に取り組んでいますが、保育や介護等福祉職については人材不足の状況が続いています。そのため、近隣区との合同面接会というスケールメリットを生かして面接会を行うものです。</p>
(1)② 就労支援センターの運営	<p>「就労支援センターの運営」について、成果指標が「620人→620人」と横ばいの目標であるのはなぜか。</p>	<p>雇用情勢の回復等により就労準備相談の利用者は減少傾向にありますが、ハローワークでの職業あっせんによる就職数が増加する等、実績と傾向を踏まえて設定したものです。</p>
(2)① 結婚に向けた出会いの場の創出	<p>「結婚に向けた出会いの場の創出」について、婚活イベントを行政が行う必要がないので、取り下げてほしい。</p>	<p>区が実施したアンケートでは、若者で結婚を希望する人が8割いたことから、そうした現状を踏まえ、結婚支援が必要と考え、取り組むこととしたものです。取組については、区が直接行うのではなく、民間事業者等が実施するイベントを区が支援する形で、結婚の希望をかなえる取組を進めていきます。</p>
3 安心して子育てするための支援		
(1)② 子育てに関する総合的な支援体制の充実	<p>「子育てに関する総合的な支援体制の充実」について、成果指標「子育てが地域の人に支えられていると感じている人の割合」が指標としてズレている。</p>	<p>核家族化や地域のつながりが希薄化する中、地域で子育てを支援する総合的なしくみを充実することが、育児不安の軽減等へつながることから、成果指標を「子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合」としています。</p>

項目	意見の概要	区の考え方
(1)② 子育てに関する総合的な支援体制の充実	「子育てに関する総合的な支援体制の充実」について、「保健センター」ではなくもっと広域的で認知度の高い施設を使用すべき。	保健センターは、乳幼児親子が健診等で利用する身近な場所であり、母子保健事業と連携を図りつつ相談支援を効果的に実施できることから、保健センター内に子どもセンターを設置したところです。より多くの方に利用されるよう、区民の認知度の向上にも引き続き取り組んでいきます。
(1)④ 多子世帯への子育て応援券の増額交付	「多子世帯への子育て応援券の増額交付」について、3人以上の多子世帯とした理由は何か。また、シングルマザーや貧困世帯としなかったのはなぜか。	子育て応援券事業は、孤立しがちな子育て家庭が子育て支援サービスを利用することで地域とつながるきっかけを作ることを目的としたもので、経済的な支援を目的としたものではありません。一方、多子世帯については、実態調査の結果、2人までの世帯に比べて、応援券を多く利用していることが明らかになったことから、応援券を増額交付することで地域から子育て支援サービスを受けられる機会の拡充を図るものです。
	保育施設の増設に取り組んでいただいているところですが、同時に、現在区内に1か所、定員10人しかない病児保育施設の増設、定員増をしてもらわないと、働く親は預け先がなくなってしまう。保育園が増え、園児が増加することで、病児保育室の予約取りが困難を極めている。	病児保育の利用については、区民の皆様からの要望が多く、区の重要課題の一つと認識しています。今年度中に新規1か所の増設に向け取り組んでいるところですが、今後も受入体制の充実を図っていきます。
	保育施設の入所は厳しい状態が続いているが、いずれは小学生になり、学童保育がオーバーフローするのは目に見えている。働く親にとって、小一の壁がもっとも厳しいと聞く。学童保育を至急、増設か増員し、保育園の延長保育があるように同様に学童保育の運営を求めたい。	区では、これまでも学童クラブの需要の増加に対応するため、児童館施設の改修等を行い、受入人数の拡大を行ってきました。今後も、需要動向を見ながら、小学校への移設を基本とし、順次整備を進め定員拡充を図ります。なお、運営時間の延長についても、本計画期間中に検討・具体化していきます。
	若いカップルを呼び込むために安い住居の提供が必要なのは頷けるが、マンション建設による宅地・緑地破壊は止めてほしい。	区内の約7割を占める住宅地の良好な住環境を維持するため、杉並区まちづくり条例、杉並区まちづくり方針において、適正な土地利用の誘導を行うとともに、杉並区みどりの条例に基づき、緑化計画の届出を義務付け、みどりの確保や創出を図っています。

項目	意見の概要	区の考え方
基本目標2 地方との連携により、豊かな暮らしをつくる		
2 地方の地域資源の活用による豊かな生活づくりの支援		
	交流自治体での生産品が杉並で流通するのは魅力がある。	旬の野菜等を交流自治体から産地直送で販売しているので、交流自治体物産展は、多くの区民から開催を期待されています。これまでの区役所での販売に加え、通販等様々な手法で交流自治体の良質な農産物を区民に提供していきます。
3 連携による結婚・就労の希望をかなえるための支援		
① 交流自治体との連携による若者の出会いの場の創出支援	「交流自治体との連携による若者の出会いの場の創出支援」について、具体案を明記してほしい。	区は、交流自治体が開催する婚活イベント等の事業について、広報紙やホームページ等を活用して、募集を支援していきます。ご意見を踏まえ、取組内容がよりわかりやすくなるよう記述を修正します。
② ふるさと就労体験の実施	「ふるさと就労体験の実施」について、ターゲット・対象者を明記してほしい。	本取組は就労準備訓練のメニューを増やすものであり、対象者は就労支援センターで就労準備訓練を行っている若者を想定しています。
③ ふるさと就労体験の実施	「ふるさと就労体験の実施」について、事業名と内容がズレている。内容を尊重するのであれば、就労合宿ではないか。	本取組は、合宿が主目的ではなく、交流自治体での就労体験を主目的とした取組のため、このような名称にしています。 名称について、より適切な表現になるよう修正します。
4 新たな住まい方の提案		
	地方の生活で自家用車は不可欠なため、高齢になってからの移住は難しい。南伊豆町に特別養護老人ホームを作るそうだが、特別養護老人ホームでの監禁生活になるだろう。	南伊豆町との連携による特別養護老人ホームの入居においては、家族宿泊室やICT技術の活用による家族等との交流等の場や連携交流スペースの活用による地域住民との交流の機会を提供していきます。社会から切り離されて過ごすことがないよう、運営事業者及び関係自治体が連携して取り組むことにより、より良い施設運営を目指していきます。

項目	意見の概要	区の考え方
	杉並からの地方移住となると、地方には基本的に第一次産業しかないため、長期的な人材育成が必要になるのではないかと。	最長5年程度の期間で杉並区に戻ることを前提として移住するお試し移住については、主な対象者を退職後の元気な高齢者としています。このため、必ずしも就労が移住の前提とはならないと考えています。ご意見を踏まえ、取組内容がよりわかりやすくなるよう記述を修正します。
基本目標3 来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する		
1 地域に根差した観光資源の魅力向上		
① 荻外荘の復元・整備を中心とした観光エリアの整備	「荻外荘の復元・整備を中心とした観光エリアの整備」の取組を「荻外荘(旧近衛文麿邸)・大田黒公園(旧大田黒元雄邸)・すぎなみ詩歌館(旧角川源義邸)・与謝野公園(旧与謝野鉄幹、晶子夫妻邸)・郷土博物館分館・区立中央図書館をつなぎ杉並昭和文化のまちなみ 観光エリアとして 一体的に整備し、まちのにぎわいを創出する。」としてほしい。	ご提案いただいた主旨は、基本目標3の「荻外荘の復元、整備を中心とした観光エリアの整備」の取組内容に含んでおり、荻外荘を中心とした大田黒公園等周辺施設との連携や回遊性を高め、周辺エリアをハードソフトの両面から、観光資源として整備していきます。
	荻外荘の認知度向上に取り組んでほしい。	(仮称)荻外荘公園基本構想に基づき、多様なイベントの開催や情報発信を通じて、荻外荘を含めたまちの魅力をアピールしていきます。
② 荻外荘の復元・整備を中心とした観光エリアの整備	「杉並芸術会館(座・高円寺)を拠点としたにぎわい創出」について、評価指標の「来館者の高円寺地域での買物率」はズレている。	公演をはじめとした各種催しのために杉並芸術会館(座・高円寺)を訪れた人が、単に施設に来てそのまま帰るのではなく、公演等の前後に高円寺の街を回遊し、飲食をはじめとした買物行動を行うことが街のにぎわいに寄与すると考え、「来館者の高円寺地域での買物率」を評価指標として設定しています。
③ アニメーションミュージアムの充実	「アニメーションミュージアムの充実」について、区内外の組織と連携してほしい。	現在もアニメーションミュージアムの企画展等を実施する際には、区内外のアニメスタジオやアニメ関係者と連携を取りながら実施しています。今後も多くのアニメスタジオやアニメ関係者と連携しながら、アニメーションミュージアムの充実に取り組んでいきます。

項目	意見の概要	区の考え方
	新規イベントの開催支援してほしい。	新規イベントの支援については、イベントの目的、性質等を勘案し、総合的に判断していきます。より適切な表現に修正します。
2 情報発信力の強化 地域に根差した観光資源の魅力向上		
	「情報発信の体制強化」「中央線あるあるプロジェクト」「すぎなみ学倶楽部の運営」「フィルムコミッションの実施」の取組について、SNS、フリーペーパー、HP、TVと媒体を変えただけではいか。まとめた施策にしてほしい。	「情報発信の体制強化」「中央線あるあるプロジェクト」「すぎなみ学倶楽部の運営」「フィルムコミッションの実施」は、「情報発信力の強化」という柱を構成する取組ですが、各取組は、それぞれは異なった内容であるため、個別の取組としました。
	井の頭線あるあるプロジェクトも始めてほしい。	区内には様々なイベントや観光資源がありますが、これらを効果的にPRし、観光事業を推進していくためには、観光客の受入体制、観光客誘致への地元の機運醸成等が重要となってきます。これらのことを踏まえ、今後、各地域において、地元の意見を聞きながら、持続的な観光客の集客につながるよう検討を進めていきます。
⑤ 駅周辺トランスボックスラッピングの実施	「駅周辺トランスボックスラッピングの実施」の取組について、評価指標「40基」の根拠を教えてください。	駅周辺で無電柱化されたトランスボックスは、中央線沿線に80基ほどあります。そのうち歩道から見えにくいものや、前に人が立ち止まると歩行の邪魔になるもの、また、設置事業者との協議等を考慮し、全体の半数程度の設置が可能と考え、40基としました。
3 外国人来街者の誘致		
	外国人観光客を誘致した場合の治安面と街の美化の点が不透明である。	外国人観光客の誘致にあたっては、多言語化した案内板や観光パンフレット等により観光マナーを周知していきます。また、外国人向けの宿泊施設整備に際しては、宿泊者の身元確認、近隣住民への説明、苦情窓口の設置等により、治安面や環境美化等良好な住環境の維持に十分留意して取り組んでいきます。

項目	意見の概要	区の方考え方
その他		
	<p>事件・事故の解決に対して防犯カメラの活用が有効的に解決に導いている。区内防犯のために、通学路のカメラ設置から始めて安全なまちづくりを望む。</p>	<p>区では、地域の安全・安心を高めるために、平成20年度から街角防犯カメラの設置を開始し、現在246台設置しているほか、関係団体への設置助成も行っています。</p> <p>また、児童の安全確保のために、平成26年度から4年間で全区立小学校の通学路に合計205台の防犯カメラを設置することとしています。今後も、区民の方々の安全確保のために、必要な場所に、必要な数の防犯カメラを設置する等、区民が安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。</p>
	<p>住宅都市として商店街の活性化に地道に取り組むことが重要である。大型店、チェーン店ではなく、特色ある店の方が魅力がある。</p>	<p>区内には、特色のある店が多数あり、区の魅力を高めています。区は、これまで商店街の活性化に積極的に取り組んできましたが、引き続き商店街の活性化を重点課題ととらえ、地域の特性を踏まえた商店街支援に取り組んでいきます。</p>
	<p>杉並には高円寺界隈を始めとして、数々の神社仏閣が沈座している。欧米の観光客の多くは浅草・上野を目指していると思うが、その目先を「小鎌倉」と銘打って「杉並」の神社仏閣に足と心向けさせる方途を企画すべきだ。</p>	<p>杉並区には、スカイツリーのような大規模な観光資源はありませんが、区ならではの様々な観光資源があります。今後は、その魅力を効果的に伝える情報発信力を強化し、外国人を含めた多くの観光客を集客できるよう取組を推進していきます。</p>
	<p>基本目標3「来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する」に違和感がある。</p> <p>10年ビジョン・10年プラン・3年プログラムから総合戦略の基本目標の実現に寄与度が高い取組を抽出する過程で、「荻窪まちづくり構想(案)」の核心部分を共通理解し、決め手になる課題への対処方針を明確にするという課題の実態を把握せずに諸々の位置付けが行われようとしている。</p> <p>核心部分とは「荻窪まちづくり構想(案)」に示す「南北問題」に関わるもので、その実態把握をし、「新規・拡充事業等」に加えてほしい。</p>	<p>区の最上位計画である基本構想において、戦略的・重点的な取組みとして位置づけている荻窪駅周辺まちづくりについては、既に、総合計画・実行計画に基づき、その着実な推進を図っているところです。</p> <p>今後、地域住民主体による「荻窪まちづくり会議」からのまちづくり構想の提案を踏まえ、まちづくり方針の策定等を進めていきます。</p>

項目	意見の概要	区の考え方
	各地方の姉妹提携のようなネットワークを使って、合宿形式で区民及び職員を対象として、「聴くチカラ」「話すチカラ」を磨くコミュニケーションの能力アップ研修を行うのはどうか。	いただきましたご提案は、今後の交流自治体との間で実施する事業の構築のための参考とさせていただきます。
	高円寺、阿佐谷では、直下型地震を想定すると、小学校が避難所になる現状では木造住宅の密集地、緊急車両通行ができない袋小路が多い。小学校を緑地帯、不燃中層住宅で囲んで守る必要がある。	首都直下地震に備え、阿佐谷・高円寺地域等の木造住宅密集地域をはじめ、震災救援所周辺や、そこに至る道路(緊急道路障害物除去路線)等について、耐震・不燃化の促進や狭い道路の解消、公園の整備等災害に強く安全・安心なまちづくりの実現に向け、防災・減災対策に取り組んでいきます。
	パールセンター、高円寺北商店街は逃げ場が少なく、非常時に人が殺到し、大惨事になる。駐輪場、緑地帯、道路が必要と考える。	現在の商店街の姿は、これまでの様々な歴史の中で形成されてきたものです。そのため、道路の位置や駐輪場の有無等商店街ごとに異なっていますが、どの商店街でも安全・安心な商店街づくりに取り組んでいます。今後も、区は関係機関と連携しながら、安全・安心な商店街づくりを支援していきます。
	空アパートをなくして活性化させるべき。	アパート等の空室を含めた空家対策につきましては、条例に基づき設置された杉並区空家等対策協議会による「杉並区空家等対策計画」を今後策定し、空家・空室の利活用促進に向けて検討していきます。
	全体として、各施策の予算を明記してほしい。	区としては、各取組の推進に必要な経費を当初予算案に計上していく考えですが、予算につきましては区議会の議決を経て決定するものであるため、本戦略には明記していません。
	評価指標の妥当性を、例えば他区との比較を出して明記してほしい。	重要業績評価指標は目標達成指標との関連性及び把握の難易度等を考慮して決定したものです。自治体ごとにそれぞれ事情も異なり、設定した基本目標、基本的方向及び具体的取組も異なることから、妥当性について比較することは困難と考えます。
	街の賑わいについて、具体策では官・民の協力が是非とも必要である。特に民の力を引き出す官の方策が大事である。 縦割り型の行政対応ではなく、タスクホース型の行政対応を是非採用されたい。	観光事業の推進は官だけでできるものではなく、むしろ、民の力が大きく必要となります。事業実施にあたっては、民間の力を最大限に活かすとともに、行政の支援にあたっては、縦割り行政に陥ることなく関係所管と連携しながら事業に取り組んでいきます。

項目	意見の概要	区の考え方
	<p>荻窪駅周辺の歩道の舗装を綺麗く清潔感・明るさ>にし、街路灯、案内表示板・など街全体が、明るく安心・安全のイメージを演出する。完成後も清掃・保安全管理を図り新しい街のイメージの定着を目指す。</p> <p>街の賑わいを創出する原動力は、人がその街に行きたくなる気持を持たせることだ。</p> <p>まず最初に、「安心・安全・快適」が大事である。</p>	<p>区内の商店街の環境整備にあたっては、新・元気を出せ商店街活性化事業や商店街装飾灯建設補助事業等を活用して整備を図るとともに、維持管理についても良好な状態が保てるよう支援に取り組んでいます。今後も、商店街と連携し、安全・安心で住み続けたいまちづくりの実現に向けた取組を進めていきます。</p>

杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)の修正一覧

凡例：★印＝区民等の意見提出手続による意見を踏まえた修正
 ・印＝その他の修正













修正箇所	総合戦略(案)	修正内容(修正は下線部)	修正理由
1P 目次	<p>基本目標2 <u>地方との連携により、豊かな暮らしをつくる</u>……………15</p> <p>1 <u>多様な体験を通じた子どもの健やかな成長の支援</u>……………15</p> <p>2 <u>地方の地域資源の活用による豊かな生活づくりの支援</u>……………16</p> <p>3 <u>連携による結婚・就労の希望をかなえるための支援</u>……………17</p> <p>4 <u>新たな住まい方の提案</u>……………18</p> <p>基本目標3 <u>来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する</u>……………19</p> <p>1 <u>地域に根差した観光資源の魅力向上</u>……………19</p> <p>2 <u>情報発信力の強化</u>……………20</p> <p>3 <u>外国人来街者の誘致</u>……………22</p>	<p>基本目標2 <u>来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する</u>……………15</p> <p>1 <u>地域に根差した観光資源の魅力向上</u>……………15</p> <p>2 <u>情報発信力の強化</u>……………16</p> <p>3 <u>外国人来街者の誘致</u>……………18</p> <p>基本目標3 <u>地方との連携により、豊かな暮らしをつくる</u>……………19</p> <p>1 <u>多様な体験を通じた子どもの健やかな成長の支援</u>……………19</p> <p>2 <u>地方の地域資源の活用による豊かな生活づくりの支援</u>……………20</p> <p>3 <u>連携による結婚・就労の希望をかなえるための支援</u>……………21</p> <p>4 <u>新たな住まい方の提案</u>……………22</p>	<p>・基本目標2と3の入替えのため修正</p>
2P 総合戦略策定の趣旨	<p>加えて、区の人口増の主な要因は、転入が転出を上回る社会増によるものであり、日本の総人口が減少すれば、区もその影響を受けることは避けられません。</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>	<p>加えて、区の人口増の主な要因は、転入が転出を上回る社会増によるものであり、日本の総人口が減少すれば、区もその影響を受けることは避けられません。</p> <p>さらに、<u>少子高齢化が一層進展し、生産年齢人口(15～64歳)が減少した場合、社会・経済活力の低下を招くだけでなく、税収の減少や社会保障費の増大等を引き起こすことも懸念されます。</u></p>	<p>・よりわかりやすくするため追記</p>
2P 総合戦略策定の趣旨	<p>区は地方創生を自らの問題として正面から受け止め、_____</p> <p>_____「杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略」</p> <p>…</p>	<p>区は地方創生を自らの問題として正面から受け止め、<u>将来にわたって地域の活力を維持し、持続可能な財政運営を確保するため、「杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略」</u></p> <p>…</p>	<p>・より適切な記述に修正</p>
4P PDCA体制	<p><u>今後は、事業実施主体である交流自治体</u></p> <p>…</p>	<p>_____事業実施主体である交流自治体</p> <p>…</p>	<p>・より適切な記述に修正</p>

修正箇所	総合戦略（案）	修正内容（修正は下線部）	修正理由
5P 基本目標	<p>視点2 地方の活力維持と区の将来にわたる発展が一体不可分であるという認識のもと、交流自治体との連携を更に発展させ、双方が活性化する新しいひとの流れをつくるとともに、地方の資源を活用し区民の生活をより豊かにする</p> <p>→ 基本目標2 地方との連携により、豊かな暮らしをつくる</p>	<p>視点2 「住みたい」「住み続けたい」住宅都市としての魅力を高める一方で、「訪れてみたい」まちとしての魅力を高め、にぎわいを創出する</p> <p>→ 基本目標2 来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する</p>	<p>・基本目標2と3の入替えのため修正</p>
	<p>視点3 「住みたい」「住み続けたい」住宅都市としての魅力を高める一方で、「訪れてみたい」まちとしての魅力を高め、にぎわいを創出する</p> <p>→ 基本目標3 来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する</p>	<p>視点3 地方の活力維持と区の将来にわたる発展が一体不可分であるという認識のもと、交流自治体との連携を更に発展させ、双方が活性化する新しいひとの流れをつくるとともに、地方の資源を活用し区民の生活をより豊かにする</p> <p>→ 基本目標3 地方との連携により、豊かな暮らしをつくる</p>	<p>・基本目標2と3の入替えのため修正</p>
6P 目標値の名称	<p>仕事と<u>家庭</u>の調和が図られていると感じる人の割合</p>	<p>仕事と<u>生活</u>の調和が図られていると感じる人の割合</p>	<p>・誤記による修正</p>
7P 〈基本目標の入替え〉	<p>基本目標2 <u>地方との連携により、豊かな暮らしをつくる</u> (以下略)</p>	<p>基本目標2 <u>来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する</u> (以下略)</p>	<p>・基本目標2と3の入替えのため修正</p>
7P 取組の基本的方向	<p>◆地方にある地域資源を活かし、多様な体験や新たな住まい方の選択肢等を提供し、豊かな暮らしづくりを支援します。</p> <hr/> <hr/> <hr/>	<p>◆地方にある地域資源を活かし、多様な体験や新たな住まい方の選択肢等を提供し、豊かな暮らしづくりを支援します。</p> <p>◆<u>交流自治体との取組の実績等を踏まえ、特別区全国連携プロジェクト(※3)を活用する等、交流自治体以外の自治体との連携についても検討します。</u></p>	<p>・取組内容の充実による追記</p>
	<p>※2 東京在住者の今後の移住に関する意識調査(平成26年8月 内閣官房実施)</p> <hr/> <hr/> <hr/>	<p>※2 東京在住者の今後の移住に関する意識調査(平成26年8月 内閣官房実施)</p> <p>※3 <u>東京23区が各地域との新たな連携を模索し、東京を含めた各地域の活性化、まちの元気につながる取組を展開するもの</u></p>	<p>・よりわかりやすくするため追記</p>

修正箇所	総合戦略（案）	修正内容（修正は下線部）	修正理由
8P 〈基本目標の入替え〉	基本目標3 <u>来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する</u> (以下略)	基本目標3 <u>地方との連携により、豊かな暮らしをつくる</u> (以下略)	・基本目標2と3の入替えのため修正
8P 現状	○JR中央線の区内4駅(※1)周辺を一つの観光地と捉え、イベントや個性的な店舗を紹介し区外からの集客を図る「中央線あるあるプロジェクト」を民間事業者と協働で実施し、 <u>SNS</u> へのアクセス数やイベント参加者数が着実に増加しています。	○JR中央線の区内4駅(※1)周辺を一つの観光地と捉え、イベントや個性的な店舗を紹介し区外からの集客を図る「中央線あるあるプロジェクト」を民間事業者と協働で実施し、 <u>ソーシャル・ネットワーキング・サービス(※2)</u> へのアクセス数やイベント参加者数が着実に増加しています。	・より適切な記述に修正
	○ _____ _____訪都外国人旅行者は増加していますが、…	○ <u>2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定等を契機に</u> 、訪都外国人旅行者は増加していますが、…	・よりわかりやすくするため追記
8P 取組の基本的方向	※1 高円寺駅、阿佐ヶ谷駅、荻窪駅、西荻窪駅 _____ _____ ※2 日本政府観光局「ビジットジャパン事業開始以降の訪日客数の推移 2014年数値」	※1 高円寺駅、阿佐ヶ谷駅、荻窪駅、西荻窪駅 ※2 <u>人と人との社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービス</u> ※3 日本政府観光局「ビジットジャパン事業開始以降の訪日客数の推移 2014年数値」	・よりわかりやすくするため追記 ・注釈の挿入による修正
10P 妊娠期からの相談・支援の充実	保健師が全妊婦と面接を行い、心身の状態や家庭の状況等を把握して、該当地区を担当する保健師等による継続した支援・フォローにつなげます。 <u>併せて</u> 、現行の出生時に交付する子育て応援券の一部を、…	保健師が全妊婦と面接を行い、心身の状態や家庭の状況等を把握して、該当地区を担当する保健師等による継続した支援・フォローにつなげます。 <u>あわせて</u> 、現行の出生時に交付する子育て応援券の一部を、…	・誤記による修正
11P 子育てに関する総合的な支援体制の充実	子育てに関する総合的な支援体制 _____ _____の充実	子育てに関する総合的な支援体制・ <u>情報発信</u> の充実	・名称の変更による修正
	また、児童館等を活用し _____ _____て、乳幼児親子が気軽に利用できる居場所を提供するとともに、子育てに関する相談や一時預かり事業等の子育てにかかるサービス・事業を総合的・一体的に実施できる施設を順次整備し、子育て支援体制の充実を図ります。 _____ _____	また、児童館等を活用した(仮称)子ども・子育てプラザにおいて、乳幼児親子が気軽に利用できる居場所を提供するとともに、子育てに関する相談や一時預かり事業等の子育てにかかるサービス・事業を総合的・一体的に実施できる施設を順次整備し、子育て支援体制の充実を図ります。 <u>あわせて、子育てに必要・便利な情報が確実に届くように情報発信の充実を図ります。</u>	・取組の趣旨及び内容をよりわかりやすくするため追記

修正箇所	総合戦略（案）	修正内容（修正は下線部）	修正理由
14P ファミリー向け住宅の供給促進の支援	(※)既存の建物に改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えること。	(※)既存の建物に改修工事を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えること。	・表記の統一を図るため修正
15～18P 〈基本目標の入替え〉	【基本目標2】 <u>地方との連携により、豊かな暮らしをつくる</u> <u>(15P冒頭から18P末まで)</u>	【基本目標2】 <u>来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する</u> <u>(15P冒頭から18P末まで)</u>	・基本目標2と3の入替えのため修正
15P 交流自治体等への交流・体験学習事業の実施	交流自治体等への交流・体験事業参加児童・生徒数_____	交流自治体等への交流・体験事業参加児童・生徒数(累計)	・より適切な記述に修正
	現状(平成26年度末) 平成31年度 105人 → <u>105</u> 人	現状(平成26年度末) 平成31年度 105人 → <u>525</u> 人	・より適切な記述に修正
16P 交流自治体物産展・情報発信の充実	年間を通して各交流自治体の物産展や観光写真展を実施するとともに、その回数を拡大します。	年間を通して各交流自治体の物産展や観光写真展を実施するとともに、その回数を拡大します。	・より適切な記述に修正
	現状(平成26年度末) 平成31年度 <u>1,000</u> 万円 → 1,500万円	現状(平成26年度末) 平成31年度 <u>約1,000</u> 万円 → 1,500万円	・より適切な記述に修正
16P 交流自治体体験・交流ツアーの開催	参加者数_____	参加者数(累計)	・より適切な記述に修正
	現状(平成26年度末) 平成31年度 — → <u>30</u> 人	現状(平成26年度末) 平成31年度 — → <u>120</u> 人	・より適切な記述に修正
17P 「すぎなみ地域おこし協力隊」の創設、活動支援	活動人数_____	活動人数(累計)	・より適切な記述に修正
	現状(平成26年度末) 平成31年度 — → <u>40</u> 人	現状(平成26年度末) 平成31年度 — → <u>160</u> 人	・より適切な記述に修正
17P 連携による結婚・就労の希望をかなえるための支援	交流自治体等が開催する若者の出会いの場を確保する事業の情報発信や就労体験の機会の創出などにより、若者の結婚や就職の希望に対する支援を行います。	交流自治体等が開催する若者の出会いの場を確保する事業の情報発信や就労体験の機会の創出等により、若者の結婚や就職の希望に対する支援を行います。	・表現の統一を図るため修正

修正箇所	総合戦略（案）	修正内容（修正は下線部）	修正理由
17P 交流自治体との連携による若者の出会いの場の創出支援	交流自治体・観光協会が実施している、区と各自治体の未婚者の出会い・交流の場を確保する事業を支援し、結婚を希望する若者の出会いの場の拡大を図ります。	交流自治体・観光協会が実施している、区と各自治体の未婚者の出会い・交流の場を確保する事業について、結婚を希望する若者がより多く参加してもらえるよう、区の広報紙及びホームページ等を活用して事業のPR活動を支援します。	★区民等の意見提出手続の意見を踏まえ、取組内容がよりわかりやすくなるよう記述を修正
	現状(平成26年度末) 平成31年度 2人 → 10人	現状(平成26年度末) 平成31年度 2人 → 30人	・交流自治体との協議が整ったため修正
17P ふるさと就労体験の実施	_____ふるさと就労体験の実施	交流自治体におけるふるさと就労体験の実施	★区民等の意見提出手続の意見を踏まえ、名称についてより適切な表現に修正
18P 南伊豆町との連携による特別養護老人ホームの整備	_____南伊豆町の町有地を活用して特別養護老人ホームを整備し、…	静岡県南伊豆町の町有地を活用して特別養護老人ホームを整備し、…	・より適切な記述に修正
	(※1)第6期杉並区介護保険事業計画の数値で、50人程度を見込んでいる。	(※1)第6期杉並区介護保険事業計画の数値で、50人程度を見込んでいる__	・表記の統一を図るため修正
18P 南伊豆町「お試し移住事業」への参加支援	南伊豆町「お試し移住事業_____」への参加支援	南伊豆町「お試し移住事業(※2)」への参加支援	★区民等の意見提出手続の意見を踏まえ、取組内容がよりわかりやすくなるよう記述を追記
	事業説明会や現地見学会_____等を通じて、_____南伊豆町が実施する「お試し移住事業」の参加者を支援するとともに、_____南伊豆町に有する区の施設や用地の活用も検討します。	事業説明会や現地見学会の開催等を通じて、静岡県南伊豆町が実施する「お試し移住事業」の参加者を支援するとともに、参加者の現地での豊かな暮らしにつながるよう、南伊豆町に有する区の施設や用地を活用した健康づくりや生きがい活動等についても検討します。	★区民等の意見提出手続の意見を踏まえ、取組内容がよりわかりやすくなるよう記述を修正

修正箇所	総合戦略（案）	修正内容（修正は下線部）	修正理由																														
18P 南伊豆町「お試し移住事業」への参加支援	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">実施スケジュール</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">  </td> </tr> </tbody> </table>	実施スケジュール					27年度	28年度	29年度	30年度	31年度						<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">実施スケジュール</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">  </td> </tr> </tbody> </table> <p>(※2) 主として退職後の元気な高齢者が一定期間移住するもの</p>	実施スケジュール					27年度	28年度	29年度	30年度	31年度						★ 区民等の意見提出手続の意見を踏まえ、取組内容がよりわかりやすくなるよう記述を追記
実施スケジュール																																	
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																													
																																	
実施スケジュール																																	
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																													
																																	
18P 「おちやクラインガルテンふれあいの里」の区民の利用支援	<p>「おちやクラインガルテンふれあいの里__」の区民の利用支援</p> <p>__小千谷市の「おちやクラインガルテンふれあいの里」(※2)にある滞在型農園を区民が利用することを支援し、二地域居住(※3)や短期の田舎体験の場を提供します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">実施スケジュール</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">  </td> </tr> </tbody> </table> <p>(※2) 滞在型農園、日帰り型農園を備えた農業体験施設のこと。 (※3) 都会と農村など、二つの生活拠点を行き来すること。</p>	実施スケジュール					27年度	28年度	29年度	30年度	31年度						<p>「おちやクラインガルテンふれあいの里(※3)」の区民の利用支援</p> <p>新潟県小千谷市の「おちやクラインガルテンふれあいの里」にある滞在型農園を区民が利用することを支援し、二地域居住(※4)や短期の田舎体験の場を提供します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">実施スケジュール</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">  </td> </tr> </tbody> </table> <p>(※3) 滞在型農園、日帰り型農園を備えた農業体験施設__ (※4) 都会と農村等__、二つの生活拠点を行き来すること__</p>	実施スケジュール					27年度	28年度	29年度	30年度	31年度						<p>・よりわかりやすくするため追記</p> <p>・より適切な記述に修正</p> <p>・注釈の挿入による修正</p> <p>・注釈の挿入による修正</p> <p>・表現等の統一を図るため修正</p>
実施スケジュール																																	
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																													
																																	
実施スケジュール																																	
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																													
																																	
19～22P 〈基本目標の入替え〉	<p>【基本目標3】 来街者を増やし、まちのにぎわいを創出する (19P冒頭から22P末まで)</p>	<p>【基本目標3】 地方との連携により、豊かな暮らしをつくる (19P冒頭から22P末まで)</p>	<p>・基本目標2と3の入替えのため修正</p>																														
19P 荻外荘の復元・整備を中心とした観光エリアの整備	<p>現状(平成26年度末) 平成31年度 113,691人 → 150,000人</p>	<p>現状(平成26年度末) 平成31年度 11万3,691人 → 15万人</p>	<p>・表記の統一を図るため修正</p>																														
19P 杉並芸術会館(座・高円寺)を拠点としたにぎわい創出	<p>現状(平成26年度末) 平成31年度 57.0% → 70%</p>	<p>現状(平成26年度末) 平成31年度 57% → 70%</p>	<p>・より適切な数値に修正</p>																														

修正箇所	総合戦略（案）	修正内容（修正は下線部）	修正理由																																
19P アニメーション ミュージアム の充実	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">実施スケジュール</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">→ 実施 →</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施スケジュール					27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		→ 実施 →					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">実施スケジュール</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">→ 実施 →</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施スケジュール					27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		→ 実施 →					・取組開始時期が早まったため、修正
	実施スケジュール																																		
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																															
	→ 実施 →																																		
実施スケジュール																																			
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																															
	→ 実施 →																																		
	現状(平成 26 年度末) 平成 31 年度 <u>41,000</u> 人 → 80,000人 (4,000人) (10,000人)	現状(平成 26 年度末) 平成 31 年度 <u>4 万 1,011</u> 人 → <u>8 万人</u> (3,845 人) (1 万人)	・表記の統一を図るため修正																																
20P 地域イベント の開催支援	各地域で行われているイベントの連携・コーディネート等の支援や観光マップ等によるPR…	各地域で行われ____るイベントの連携・コーディネート等の支援や観光マップ等によるPR…	★区民等の意見提出手続の意見を踏まえ、より適切な記述に修正																																
	現状(平成 26 年度末) 平成 31 年度 ____193万人 → 200万人以上	現状(平成 26 年度末) 平成 31 年度 約193 万人 → 200 万人以上	・より適切な記述に修正																																
20P 情報発信力の強化	より多くの人に区の魅力を効果的にわかりやすく伝えます。_____	より多くの人に区の魅力を効果的にわかりやすく伝えます。また、外国人に向けての情報発信では、外国人の視点に立ち、外国人ライターや訪日外国人旅行者によるソーシャル・ネットワーキング・サービス等を活用した情報発信の充実を図ります。	・取組の内容をよりわかりやすくするため追記																																
20P 情報発信の体制強化	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">実施スケジュール</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">→ 実施 →</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施スケジュール					27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		→ 実施 →					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">実施スケジュール</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td colspan="4" style="text-align: center;">→ 実施 →</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施スケジュール					27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		→ 実施 →					・誤記による修正
	実施スケジュール																																		
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																															
	→ 実施 →																																		
実施スケジュール																																			
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																															
	→ 実施 →																																		
20P 中央線あるあるプロジェクトの推進	中央線あるあるプロジェクト__の推進	中央線あるあるプロジェクト(※)の推進	・よりわかりやすくするため追記																																
	区内JR中央線各駅のまちを通じ、区の「良さ」「らしさ」を再発見し、イベント、観光スポット、ひと、まちの文化を観光資源として集約し、SNS _____等を用いて効果的にPRすることにより、区への持続的な集客を図ります。	区内JR中央線各駅のまちを通じ、区の「良さ」「らしさ」を再発見し、イベント、観光スポット、ひと、まちの文化を観光資源として集約し、ソーシャル・ネットワーキング・サービス等を用いて効果的にPRすることにより、区への持続的な集客を図ります。	・より適切な記述に修正																																
	現状(平成 26 年度末) 平成 31 年度 3,017 → <u>11,000</u>	現状(平成 26 年度末) 平成 31 年度 3,017 → <u>1 万 1,000</u>	・表記の統一を図るため修正																																

修正箇所	総合戦略（案）	修正内容（修正は下線部）	修正理由																																								
20P 中央線あるあるプロジェクトの推進	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">実施スケジュール</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">→ 実施 →</td> </tr> </tbody> </table>	実施スケジュール					27年度	28年度	29年度	30年度	31年度						→ 実施 →					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">実施スケジュール</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">→ 実施 →</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※) 区のほか、区内産業団体、企業、NPO等で構成される実行委員会により運営されている区の都市観光事業の一つ</p>	実施スケジュール					27年度	28年度	29年度	30年度	31年度						→ 実施 →					・よりわかりやすくするため追記
実施スケジュール																																											
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																							
→ 実施 →																																											
実施スケジュール																																											
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																							
→ 実施 →																																											
21P すぎなみ学倶楽部の運営	現状(平成 26 年度末) 平成 31 年度 __60万件 → 65 万件	現状(平成 26 年度末) 平成 31 年度 約 60 万件 → 65 万件	・より適切な記述に修正																																								
21P フィルムコミッションの実施	フィルムコミッション__の実施	フィルムコミッション(※1)の実施	・よりわかりやすくするため追記																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">実施スケジュール</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">→ 実施 →</td> </tr> </tbody> </table>	実施スケジュール					27年度	28年度	29年度	30年度	31年度						→ 実施 →					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">実施スケジュール</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">→ 実施 →</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 地域の活性化や観光振興等を図るために設置された、映画・テレビドラマ等の撮影場所誘致や撮影の支援を行う組織</p>	実施スケジュール					27年度	28年度	29年度	30年度	31年度						→ 実施 →					・よりわかりやすくするため追記
実施スケジュール																																											
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																							
→ 実施 →																																											
実施スケジュール																																											
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																							
→ 実施 →																																											
21P 駅周辺トランスボックスラッピングの実施	駅周辺のトランスボックス__ラッピングの実施	駅周辺のトランスボックス(※2)ラッピングの実施	・よりわかりやすくするため追記																																								
	ラッピング実施数__	ラッピング実施数(累計)	・誤記による修正																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">実施スケジュール</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">→ 実施 →</td> </tr> </tbody> </table>	実施スケジュール					27年度	28年度	29年度	30年度	31年度						→ 実施 →					<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">実施スケジュール</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">→ 実施 →</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※2) 電力会社が管理している電線類を地中化するために路上等に置かれる箱型の設備</p>	実施スケジュール					27年度	28年度	29年度	30年度	31年度						→ 実施 →					・よりわかりやすくするため追記
実施スケジュール																																											
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																							
→ 実施 →																																											
実施スケジュール																																											
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度																																							
→ 実施 →																																											
22P 観光振興の基盤整備	__増加する訪日外国人旅行者に対応可能な…	2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催等を好機と捉え、増加する訪日外国人旅行者に対応可能な…	・よりわかりやすくするため追記																																								

修正箇所	総合戦略（案）	修正内容（修正は下線部）	修正理由
22P 宿泊施設の 拡充をはじめ とする訪日外 国人の観光 基盤整備	宿泊施設の拡充をはじめとする訪日外国人 _____の観光基盤整備	宿泊施設の拡充をはじめとする訪日外国人 <u>旅行者のための観光基盤整備</u>	・表現の統一を 図るため修正
	外国人の滞在型宿泊施設(7～10日以上__ _____)として整備・運営する事業者に対し、 助言等の支援を行います。	外国人の滞在型宿泊施設(7～10日以上 <u>の 宿泊</u>)として整備・運営する事業者に対し、 助言等の支援を行います。	・より適切な記 述に修正
	また、区に密着した旅行の商品化支援等、 _____外国人旅行者誘引のための基盤整備 を進めます。	また、区に密着した旅行の商品化支援等、 <u>訪日外国人旅行者誘引のための基盤整備</u> を進めます。	・表現の統一を 図るため修正